

令和8年 3月 24日

令和7年度寄附講座活動実績報告書

寄附講座名：不整脈先進医療学講座

所 属 長：的場聖明

1 寄附講座の目的

近年、デジタルヘルスは、モバイルネットワークのユビキタスな接続性とスマートフォンやタブレットの急増に基づくヘルスケアの構築を補完する方法として登場した。これらデジタルイノベーションにより、患者は自分の健康を積極的に自己管理できるようになり、ケアの質と安全性が向上し、ヘルスケア関連のコストが削減されることが考えられている。

我々は、ヘルスケアにおけるテクノロジー、アプリケーション、サービスの付加価値を調査・研究し、革新的なサービスの創出やスタートアップ企業との協業など、デジタルヘルス業界の経済活動を推進していきたいと思っている。

2 報告年度に係る取組状況

生活習慣と心房細動の関連に関する観察研究では、血清尿酸値の経時的変化と体重増加が新規心房細動発症に与える影響を分析し、BMJ Openに論文を発表した。高血圧患者における心房細動の危険因子管理に関する研究では、高齢高血圧患者のスクリーニング検出心房細動と血圧の関係を明らかにし、Thrombosis and Haemostasisに発表した。さらに、塞栓源不明脳塞栓症患者を対象とした12誘導心電図AIによる潜在性心房細動検出精度評価試験では、心房細動の予測モデルをHeart Rhythm 02に発表した。

また、多極マッピングカテーテルを用いた持続性心房細動基質の特徴解明研究および12誘導心電図AIによる心不全検出研究は現在論文投稿・執筆中である。

3 報告年度における著書、論文、学会発表、講演、研究助成等の実績

論文

- Association between depression and risk of ischaemic stroke in patients with atrial fibrillation
- Evaluating the appropriateness and safety of generative AI in delivering lifestyle guidance for atrial fibrillation patients
- Silent cerebral microvascular disease and the longitudinal risk of cognitive decline in atrial fibrillation
- Daily home ECG monitoring for assessing the blanking period after catheter ablation in persistent atrial fibrillation
- Remote non-invasive ICT monitoring for heart failure: a feasibility study
- Atrial Fibrillation Screening: Burden or Benefit for Patients and the Healthcare System

学会発表（代表的なもの）

2025年11月日本不整脈心電学会総会発表 7つ

2026年3月日本循環器学会総会発表 3つ

研究助成

一般社団法人京都知恵産業創造の森 産学公連携共同研究開発事業

京都府立医科大学 社会実装を目的とした臨床研究促進事業

一般社団法人京都知恵産業創造の森 メディカル革新助成金

J-AB レジストリ研究課題 採択

※欄内におさまらない場合は枠を広げて記入のこと。

※大学ホームページ等において公表することとなるので、秘密情報については記載しないこと。